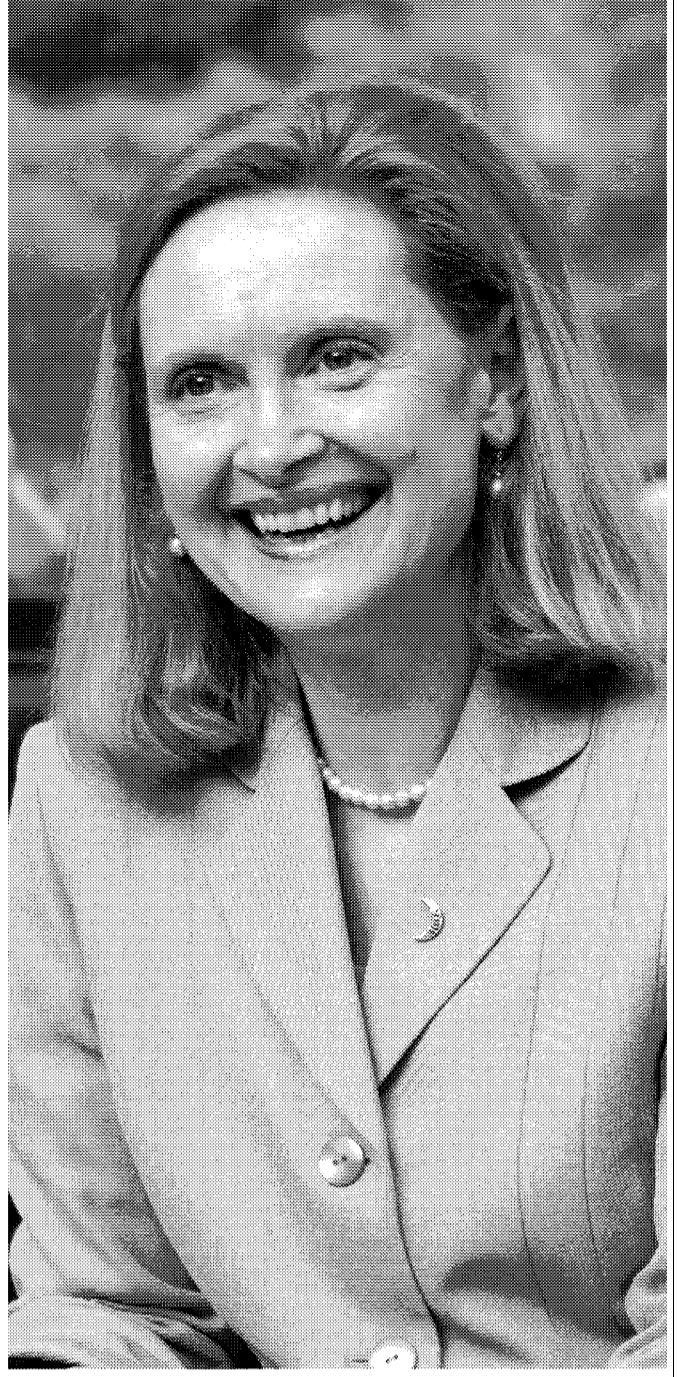


広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER

リーダーたちの本棚 vol.16



関西学院 第15代 院長 ルース・M・グルーベルさん Ruth M. Grubel

「私が日本で小学校に通っていたある日、カナダから学校に大きな箱が届きました。箱を開けてみると、入っていたのはカナダの子どもの手紙が送られてきたのです。箱の中の本を全部読もうと思いましたが、本の面白さを知ることができ、今でも感謝しています。そう美しい日本語で話すルース・M・グルーベルさんは、今年で創立121周年を迎える関西学院の院長。読書は小さな頃から大好きだったというグルーベルさんに、心に残っている本を紹介していただきました。

アンの前向きさに魅せられて

授業や著述の準備のために本は毎日読みます。最近では出張で新幹線に乗っている時が、ゆっくり落ちて本を読める大切な時間ですね。読むのは英語版ですが、日本の作家の本も好きで、行き先を舞台にしたミステリーや小説を読むことを楽しみにしています。和歌山へ行った時には有吉佐和子さんの「紀ノ川」を読みましたし、谷崎潤一郎の「細雪」を読んだ時は、関学にも近い若原周辺の昔々

人として、女性として生きる 私を勇気づけてくれた本

私の街並みを想像し、楽しみました。私が影響を受けた本というと、若い頃に読んだものが多く、最初に紹介するのは、モンゴメリの「赤毛のアン」です。子どもの頃の私は、アンと同じ赤毛でした。「周りはみんなきれいな黒髪なのに、なぜ私だけ変な色なの？」と思い、自分の髪が嫌いで、ですからアンには親近感をもちましたし、がんばる彼女の姿から勇気ももらいました。アンは非常にたくましい女性です。家の働き手になる男の子を養子にしたかったマッシュウとマリラは、手違いでアンが

他者を思う心をもつ世界市民の育成を

グルーベルさんは2歳の時に宣教師の両親と共に来日。すべて英語による教育を受けたが、青春時代の多くを日本でも過ごした。その後、アメリカでアジアを研究対象に政治学を専攻。91・92年に再来日した際に関西学院を訪れ、美しいキャンパスに魅了されたという。



1950年アメリカ・ミネソタ州生まれ。74年米国インディアナ大学コロンビア校卒業。86年ネブラスカ大学リンカーン校政治学大学院修了(政治学博士号取得)。ウイスコンシン大学ホワイオーター校教授を経て、96年に関西学院宣教師、関西学院大学社会学部助教授に就任。98年から教授(現在まで)。2007年4月に関西学院院長に就任。キリスト教主義に基づき、幼稚園から大学院までの教育を統括する。

私の生き方を変えた 『新しい女性の創造』

次は大学院時代に読んだトーマス・クーンの「科学革命の構造」です。パラダイムシフトという言葉が世に広まった本として知られています。私の専攻は政治学で自然科学は専門外でしたが、学問をする上で基本となる本になりました。私たちが過去を今の知識で批判しがちですが、当時の状況の検証を忘れてはいけません。政権交代や金融危機にしても、

海外に情報発信したい 日本の市民運動の充実

一冊、英文の本も紹介します。Jennifer Chanさんの「Another Japan Is Possible」という、日本の市民運動を紹介した本です。市民運動や市民レベルからの国際化を研究テーマに選んだ私が、大学教員として再び来日したのは1991年。当時アメリカでは「日本は市民運動が活発ではない。村社会的な近所付き合いはあるが、それが国が組織化したものだ」という主張が主流で、私は悔しく思っていました。ところが「Another Japan Is Possible」には、労働運動、平和活動、HIVやジェンダーの問題などに自発的に取り組むさまざまなNGO・NPOの活動が紹介されていて、「日本にも市民運動がある」と呼びびたくなりました。

幼い頃から聞かされてきました。自分で読もうと思ったのは小学生の時ですが、分量のある完全版を読み終えたのは高校生の時でした。ジャン・バルジャンは教会で銀の食器を盗み捕まります。しかしその教会の神父は、彼を連れてきた警察官に「これは彼にあげたものです」といって、銀の燭台まで差し出します。この出来事が、その後の彼の人生を大きく変えます。ジャン・バルジャンが多くの出会いの中で人のために生き、人を救う役割をいろいろな形で実践する姿が強く印象に残っています。

それまでの理論や方法が間違っていたのか、考え方は正しかったが行動が誤っていたのか、異例な事態が起きてしまったのか、パラダイムが大きく変わり、従来の常識が通用しなくなったのか、それらを検証した上で、未来を探ることが大切だと思います。ところで、結婚した当初の私の将来像は、郊外のすてきな家で子供たちと過ごすという典型的な専業主婦でした。しかし、受けた教育を生かしたいと考えたようになり、大学院に戻りました。ちょうどその頃、ベティ・フリーダンの

人生のすべてが 教育の場

「その時は自分が院長になるとは思いませんでしたが、キャンパスというのは教育の重要な要素です。外国人教員も増え、日本の大学の国際化は進んでいます。幼稚園から大学院までを擁する総合学園の長に、選挙で女性の私が選ばれたのはびっくりです。」

宣教師として、また教員として招かれた関学で、2007年に第15代院長に就任。創立120周年を迎え

た99年、受け継がれた「創造的かつ有能な世界市民を育てよう」というミッション(使命)と「Mastery for Service」(奉仕のための精通)というスキルセットを現代の教育とどうえら「新基本構想」を定めた。

「その10年間の到達目標として、6つのビジョンを設定しました。それは卒業生が備えるべき知識・能力(KG)「学術」の高い質の保証、関学らしい研究で世界的提議となること、多文化共生する国際性豊かなキャンパスの実現、地域・産業界・国際社会との連携の強化、一貫教育と総合学園構

構成/松本茂 撮影/長尾純之助 ■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、ルース・M・グルーベルさんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com

Books list including 'The Peacemaker', 'Another Japan Is Possible', 'Science Revolution', 'The Feminine Mystique', and 'The Red Rover'.

Large advertisement for 'Speed Reading Textbook' (速読の教科書) by Shigenori Saito, featuring 'Speed Ear' (速読耳) and 'Speed Reading Technique' (速読式速読術).

Advertisement for 'Business Map' (業界地図) by Kenji Kihara, published by Mikasa Shoten.

Advertisement for 'Cancer Treatment' (今あるガン) by Junji Takahashi, published by Mikasa Shoten.

Advertisement for 'Brain Training' (脳をいじることだけを) by Masahiko Shimizu, published by Mikasa Shoten.

Advertisement for 'Speed Reading Textbook' (速読の教科書) by Shigenori Saito, published by Mikasa Shoten.